

アート・ギャラリー

四国88ヶ所へんろ小屋プロジェクト模型・香川(縮尺1:10 70cm~100cm)

歌 一洋

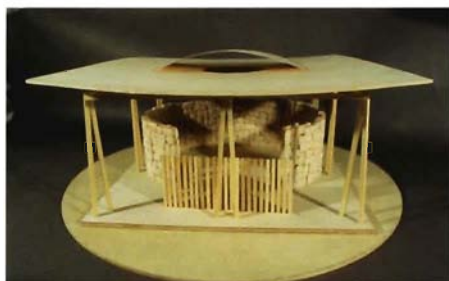
小屋づくりは人の“わ”づくり

空海が開創したといわれる霊場札所が四国全域に在る。いわゆる「四国88ヶ所」である。巡拝する1400kmの遍路道に歩きお遍路さんの休憩、仮眠できる「へんろ小屋」を89ヶ所に10数年をかけてつくるプロジェクト。小屋のデザインは地域特性、空海思想他を表現し、カタチは全て異なる。(2001年から始めて、現在15棟の小屋が完成している)

この模型写真は、香川県の8ヶ所につくる計画案であり、へんろ道調査の上、建設場所を決めている。構想・設計・監理・建設・管理等は接待の精神に基づき、基本的にボランティアで行う。



1 つかの間の休息を(観音寺市)
ミカン畑に囲まれて次の札所に思いを。
小屋の方向は次の札所を指す。



2 古しえに思いを(豊中町)
ベンチを囲む壁はこの地の古墳のイメージ。
その空間に天からの光が落ちる。



3 お大師さんに囲まれて(高瀬町)
屋根は遍路の網笠がモチーフ。
高野山を向く壁、格子は空間に落ち着きを。



4 砂糖しめ小屋(坂出市)
かつて砂糖キビを絞っていた小屋が
モチーフ。
讃岐特産の和三盆ができる。



5 ため池は讃岐の国(高松市)
風土に根ざしたため池は讃岐ならではの。
ベンチ、床もため池のイメージ。
屋根は空海ゆかりの満濃池がモチーフ。



6 マンダラ(高松市)

いよいよニルバーナ(涅槃)。

土、水、火、風、空を表現し、周囲の
ポールは88ヶ寺を表す。



7 眼下は讃岐平野(高松市)

聖に向って開き、奥は仮眠の空間。

ベンチは高野山、善通寺を指す。



8 五剣山に守られて(牟礼町)

石に支えられ…ここは日本有数の石の産地。
ベンチの背はこの地域を見守る五剣山
がモチーフ。